

各 位

映画「駅までの道をおしえて」子役（男子）募集

原作：伊集院静「駅までの道をおしえて」(講談社刊)

脚色・監督：橋本直樹

製作：GUM 株式会社 株式会社ウィルコ

製作プロダクション：株式会社ウィルコ

【募集キャスト】

コウイチロー役

9月撮影時の学年が小学3年生～6年生の男の子を募集致します。

オーディションは4月後半～5月前半の予定です。(ご応募いただいた方、全員にお会いする予定です。遠方の方はビデオ審査を行います。)

本番撮影時は、坊主頭になります。

【撮影時期】

2018年9月

(コウイチロー役の撮影日数は最長7日間を予定しています。)

【資料送付先及びお問合せ】

写真付きプロフィールをメールで下記アドレス宛にお送りください。

(注)メールのみ受け付けております。

資料のお持ち込みはご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

ekimade@wilco-jp.com (担当：ウィルコ陸野)

件名:「駅までの道をおしえて」コウイチロー役応募 と記載してください。

〆切 2018年3月31日(土)

<ストーリー>

愛犬ルーが死んでしまった。

8歳になるサヤカはその事実を未だに受け止めきれずにいる。

ルーと遊んだ秘密の場所、昔は駅があったという跡地を一人ぼっちで訪れる。そこでサヤカは一匹の犬と出会う。名前はルース。とある喫茶店で飼われているらしい。

喫茶店のマスター、フセコウタローは、頑固で変わり者。

フセ老人もまた、幼くして亡くした息子コウイチローの死を受け入れることが出来ないでいた。

二人は、ルースを通して出会い、お互いの年齢や外見を気にもとめず、打ち解けていく。

サヤカとフセは、大切な何かを見つけるために、ルースを連れて海まで出かけることにした。

・・・大切な何か。期待するのは止めようと思っていたのに。

それなのにサヤカの中で止め処なく溢れ出る『逢いたい』という願い。でも、、もうルーは・・・

その時、サヤカの目の前に一人の少年と一匹の犬が現れる。

サヤカはその犬を強く抱きしめる。それはルーだった。ルーが帰ってきたんだ。そして、夏の海で、少年とルーと過ごすかけがえのない時間。

その少年は、野球が大好きで、地図を見るのが大好きで、船を見るのが大好きで、フセ老人から聞いていたコウイチローにそっくりだった。これはまぼろしなのだろうか・・・

海から帰ってくると、フセ老人は入院した。

お見舞いに駆けつけたサヤカに残した、最期の言葉・・・

『皆で、、また電車に乗ろうって、、駅で逢おうって・・・』

それぞれの祈りを乗せて電車は走る。